

こ みち
教育の小径

【今月の花】
アネモネ
【花ことば】
真実・清純無垢

今月の記念日

消防記念日(3月7日)

昭和23年3月7日に、消防組織法という法律が施行されました。消防の業務はそれまで警察の管轄でしたが、この日から市町村長が管理するようになりました。消防記念日は、この日にちなんで昭和25年に当時の国家消防庁(現在の総務省)によって制定されました。



国士舘大学教授
北 俊夫先生

今月の
テーマ

「総合的な学習の時間」の総点検

- 「総合的な学習の時間」を一層充実させるためには、各学校で実施されている取り組みの課題を洗い出し、その解決に努めることが大切です。
- 各学校においては、目標や内容の設定、育てようとする資質や能力及び態度の明確化、道德教育との関連、言語活動の充実などの視点から総点検します。

「総合的な学習の時間」の課題

各学校は、これまで「総合的な学習の時間」に精力的に取り組んできました。ところが、次のような課題が見られます。

「総合的な学習の時間」では、子ども一人一人の問題意識や主体的な学習態度を尊重します。そのためややもすると、教師が指導することを躊躇し、教えるべきことがきちんと指導されていない実態が散見されます。子ども一人一人の学習上の課題を見きわめ、教えるべきことは教える、望ましくないことは制止するなど、子どもの学習状況をていねいに観察し、子どもの主体性を尊重することと教師が指導性を発揮することのバランスを図ることが大切です。

「総合的な学習の時間」の創設の趣旨には、教科等の学習で習得した知識や技能、能力等を活用して横断的・総合的な学習や探究的な学習を展開することが挙げられていました。このことを実現するためには、主な学習活動ごとに教科等との相互関連を明確にするとよいでしょう。教科の学習から「総合的な学習の時間」に発展させたり、「総合的な学習の時間」の取り組みから教科の学習に連続させた

りすることが考えられます。

教科書教材が用意されていないために、どうしても教材の開発や課題の設定に関心が向きがちです。教材や学習活動をとおして子どもたちに何を身につけさせるのか。各学年で指導する目標や内容を各学校で定める必要があります。

「総合的な学習の時間」においても子どもの学習状況を観点別に評価します。評価の観点が「目標や内容」を踏まえたものになっているか。観点の数は実施可能なものか。観点ごとの評価規準は作られているかなど、確認したいものです。

総点検のための新しい視点

ここでは、「総合的な学習の時間」の実践を総点検する際の、新学習指導要領に見る新しい視点を紹介します。

○「目標」を踏まえた「目標や内容」を設定する

新学習指導要領には、「総合的な学習の時間」の「目標」が新たに示されました。ここには、横断的・総合的な学習だけでなく探究的な学習を展開すること、協同的に取り組む態度を育てることが新たに加えられています。各学校ではこの「目標」を踏まえて、自校の「目標や内容」を

学年ごとに定めます。

○育てようとする資質や能力及び態度を明確にする

これまでの実践でも「育てたい力」などの名称で、何を育てるのかを明確にしてきました。「育てようとする資質や能力及び態度」の内容と「目標や内容」との関連性を明確にしておくことが大切です。新学習指導要領には、「資質や能力及び態度」に含める視点として、学習方法、自分自身、他者や社会とのかかわりの三つに関するものが新たに例示されています。

○道德教育との関連を考慮する

「総合的な学習の時間」においても道德教育との関連を意識した実践が求められています。道德の学習指導要領に示されている「内容」と「総合的な学習の時間」とは、目標や内容、教材や題材、学習活動、それに授業経営や学級経営など、さまざまな側面から関連づけることができます。

○言語活動を充実する

新学習指導要領では、すべての教科等で言語活動を重視しています。「総合的な学習の時間」でも、言語を読み解く活動、友だちと討論する活動、調べたことや考えたことなどを論述する活動、発表したり説明したりする活動などを取り入れるようにします。

理科の授業では、生物、物理、化学などに関する観察や実験が取り入れられています。観察や実験は子どもたちが楽しみにしている活動です。自然現象に興味をもたせ、理科の好きな子どもを育てるために大切なことです。

観察や実験には、そのための準備に時間がかかります。化学薬品や実験器具、アルコールランプなどを使用するときには危険が伴います。現象が変化したり条件が異なったりすると、教師が期待していた結果にならないこともあります。

理科の授業の成果を高め、何よりも実験を安全に行うためには、事前に予備実験を行い、実験の方法や結果、器具の使い方、留意事項などをあらかじめ確認しておくことが大切です。クラブ活動でより高度な実験を行うときには、必ず予備実験を行います。安全上の配慮が欠かせません。できれば複数の教師が指導するとよいでしょう。

いずれの場合にも、事前に指導計画を作成し、校長など管理職に報告しておくようにします。



授業中、子どもたちに発言を促すことがあります。これによって子どもたちは友だちから学ぶことができ、教師は子ども一人一人の参加意欲や学習状況を把握することができます。

学級には、どうしても発言しない子どもがいます。そうした子どもには無理に発言させようとせず、まず発言しないのか、発言できないのかを確認します。発言する内容をもっていない。発言の仕方がわからないなどいろいろな原因が考えられるからです。

発言しない子どもの中には、他の子どもの参考になる優れた考えをもっている子どももいます。その子どもを授業の中で生かすことによって授業の質をさらに高めることができます。

自信がなく、発言することに不安をもっているために発言することを躊躇している子どももいます。こうした子どもが生き生きと発言できるようにするためには、まず自分の考えをノートに書かせ、次に隣の人と考えを交換させるなどの手順を踏むと、発言できるようになります。教師が代わりに読み上げ、内容のよさを紹介する方法もあります。学級の中に考えの違いを認め合い、支え合う温かい雰囲気がつくられていることが何よりも重要です。



教育キーワード 学校耐震化対策

子どもたちは一日の大半を学校の校舎で過ごします。災害時においては、学校が地域住民の応急避難場所としての役割を果たします。学校は安全な場所であればなりません。

わが国においては、いつでもどこでも大きな地震が起こるかわかりません。現在各自治体では、学校の耐震化工事を進めています。安全な校舎に立て替えること（改築）が望ましいのですが、経

費的な理由などから耐震補強・改修という方法が取られています。

工事は多くの場合、子どもの学習を考慮して夏休みなどの長期休業日に実施されています。予算の措置が十分でないことから年次計画で進行しています。そのため、すべての学校で耐震化対策が完了している状況ではありません。現在も進行中です。一日も早い耐震化対策の完了が待たれます。

学級通信に使える今月のイラスト



卒業証書



桃の花

編集後記

3月になりました。新学習指導要領の全面実施まであと1か月。次号では「学習指導要領の全面実施一実践上の課題の再確認を」と題し、4ページにわたって特集いたします。いつもより少し早目の今月20日前後にお届けできる予定です。ご期待ください。(H記)

Information (PR)

すぐ使える

小学校 新指導要録

記入文例集

通知表の作成にも
使えます!



- ◎監 修 梶田 毅一
- ◎企画・編集 ぶんけい教育研究所
- ◎定 価 1,200円(税込)
- ◎発 行 株式会社文溪堂

B5判 128ページ